



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

観光行政

Q コロナ後、これからの観光をどのような方向で捉えているのか。

A 観光産業は宿泊や土産品のほか、交通、飲食など多岐にわたり影響する分野で、地域で幅広い産業への効果を生み、地域経済の活性化に重要な役割を担っている。島原城や武家屋敷をはじめ鯉の泳ぐまちなどの観光スポットやジオの恵みの火山や温泉、豊富な海山の幸を堪能できるグルメスポットがたくさんある。テレビ番組やCMなどで取り上げられた観光スポットには多くの観光客が訪れており、周遊促進や滞在時間延長の効果を高めていきたい。インバンドもまた復活してくるので、長期滞在に島原を選んでいただきたい。また、スポーツ合宿や大会の誘致が着実に成果を上げており、本市の強みを生かした事業推進で交流人口の拡大、アフターコロナの観光消費額の増加につなげていきたい。

Q 道の駅構想の展開をどう考えているのか。

A 今日、経験したことがないスタイルの道の駅が登場している。島原

半島は県の農業産出額が47%で、やはり一大農産地として道の駅の魅力があり、また、災害対応の拠点として国交省からのアドバイスもいただいた。農業振興地域では道の駅のトイレが農作業をされる方にも利便性が高い。大手メーカーが外資系のホテルを建設するケースなど、多岐にわたっているので、様々な情報を収集して議論を積み重ね、島原に合うものが見つかれば良いと考えている。

Q 沖縄や福岡などでアジア向けの観光として屋台がブームとなっているが、どう思われるか。

A 屋台村には非常に高い関心がある。公共施設の使用や民間のチャレンジャーなどいろいろなケースが想定される。まずはいろんな事例の情報収集をしてみたい。

Q 新たな戦略で外国人観光客を増やす考えはないか。

A 今春オープンした旧堀部邸の「HOTEL水脈mio」は、宿泊稼働率が3割から4割の目標で順調に稼働している。東京から20代カップルが1泊約3万円でも普通に宿泊されており、カフェも人気を博している。

【その他の質問項目】

◇企業誘致に向けた今後の展望について

◇産業の活性化のための戦略をどう捉えているのか



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園 浩太郎 議員

島原市立小・中学校再編基本計画

Q 計画の趣旨、考え方は？

A 趣旨は2つ。学校施設の老朽化による将来的な維持、更新に係る財政的負担の軽減と、人口減少で少子化による学校の小規模化が進む中で教育効果を高めるため、一定の学校規模を確保する必要がある。

Q 具体的な再編スケジュールは？

A 公共施設等総合管理計画では令和18年以降、徐々に進めていく計画だったが、合意形成が図られたところから早めに進めていきたい。

温水プール跡地

Q 既存プールを解体した跡地は、グラウンドゴルフコースに必要な面積と同じなので、活用の検討をできないか。また、霊丘公園で開催されている行事（初市、精霊流し、相撲、グラウンドゴルフ、ペタンク等）の代替地の予定は。

【その他の質問項目】
◇有明の森フラワー公園における再発防止策について

A グラウンドゴルフの練習場所は代替場所を検討中。ペタンクは霊丘公園内のローンボウルス場の利用で調整中。初市の代替地は未定。精霊流しは新たな温水プールの駐車場スペースがどのように整備されるか確認しながら、使用の可否を協議する必要がある。

市内の交通危険箇所

Q 新山原町線と上の原球場線の交差点。

A 交通安全対策は必要と認識しており、道路標示や看板設置など、一時停止線を含め対策をさらに警察へ要望したい。すぐにできる対策として、上の原球場線に減速と交差点注意の路面標示をした。

Q 霊南山ノ神線、白土湖横の交差点。

A 警察に信号機の時間調整をお願いしている。それまでの間、車両進入抑制の路面標示を予定。